HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

（第 2660 地区）　WEEKLY BULIETIN　No.38

東大阪中央ロータリークラブ

創　　立　昭和47年2月20日
例 会 日　毎週月曜日　12:30～
例会場所　シェラトン都ホテル大阪　3F
事 務 局　大阪市天王寺区石ヶ辻町2－8
〒543-0031　クレアツィオーネ上本町 704号
TEL ：06－6772－2320
FAX ：06－6772－2327
E-mail ：hcrc@at.wakwak.com

会　　長	三 木 武 志
会長エレクト	小 川 高 弘
副 会 長	百 済 洋 一
幹　　事	佐 藤 三千秋
会報委員長	岩 﨑 史 郎

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015～2016 年度　国際ロータリー会長　K. R. ラビンドラン

第 2011 回例会　　平成 28 年 6 月 6 日（月曜日）第 38 号

本日の例会　６月６日（月）　第１例会

◎ソング　「 限りなき道ロータリー 」
◎卓　話　『青少年交換プログラムの素晴らしさ』
◎ゲストスピーカー　神峰山寺　御住職（高槻西ＲＣ）
元青少年交換委員長　近藤　眞道様
担当：佐藤三千秋会員
◎本日の献立　軽食ワンプレート

次回の例会　６月１３日（月）　第２例会

◎卓　話　『　二度目のイニシャルスピーチ　』
担当：小川　高弘会員

前回の例会　５月２３日（月）　第３例会

会 長 挨 拶　三木　武志

皆様こんにちは。先週の金曜日にＩＭ４組新旧会長幹事会がありました、そして４組での今年の行事が終わりました。そして次年度はいよいよ私たちの東大阪中央ロータリークラブがホストクラブです、来年のロータリーデーは新しいことに取り組んでいきますのでクラブ全員で一丸になって成功させましょう。

東輪会は来月に鳴尾ゴルフクラブに於いてゴルフコンペがあります、そして東輪会での新旧会長幹事会で終わりになります。地区ではＩＭの再編成が数年後に行われるそうですが、これからも東輪会の皆さんと親睦を深め奉仕活動ができるように頑張りましょう。

出 席 報 告　金子　委員

本日の会員数	２４名
本日の出席者数	１６名
本日の出席規定適用免除会員	１０名
本日の出席率	７２．７３％
４月２５日の修正出席率	９５．４５％

ニコニコ箱報告　長堀　副SAA

佐藤幹事　急に暑くなってきましたが、熱中症に気を付けて下さい。

幹 事 報 告　幹事　佐藤　三千秋

1. 再来週６月６日(月)は、新旧クラブ協議会、理事会を５階、カトレアの間にて開催致します。新旧理事役員、各委員会委員長にはよろしくお願いいたします。委員会委員長各位には、報告・発表のご用意をよろしくお願いいたします。また、当日は、梅澤喜八郎ガバナー補佐、林ガバナー補佐エレクトがご臨席です。全員出席でよろしくお願いいたします。
2. ６月から９月までクールビズ期間です。ロータリアンらしいさわやかな服装でお越し下さい

卓　　話　長堀　哲矢

《地震と地震保険について》

本日、卓話させていただきます、長堀です
聞き苦しいことが有ると思いますがご容赦ください。

さて、私の題名は、地震についてですが、私は保険業界に携わって１５年になりますが大きな地震で保険対応したのは、２回目です。１つめは東日本大地震・２つめは、先月の　４月 14 日の熊本地震です。どちらも被災し非難されている方々が多い大災害です。

今回、卓話で話しようと思い、色々と過去の地震について調べてきました。既にご存知の方もおられると思いますが、日本地震の歴史についてです。
お配りしました、日本地震の歴史についてご覧ください。
まずは、飛鳥時代から戦国時代版です。
日本書記に書かれている、日本最初の地震が西暦４１６年にあったと記録されています。
マグニチュード７以上の大地震が４１６年から１６０２年の間に 36 回あり大災害となったとの記録が残っています。その中でも被害が大きかったのが『白鳳地震・貞観地震・永仁地震・正平地震・明応地震・天正地震』（はくほう地震・じょうがん地震・えいにん地震・しょうへい地震・めいおう地震・てんしょう地震）です。**白鳳地震**は 684 年とされ、マグニチュード８．２５、震源地が東海・東南海・南海と三連動地震で記録によると山は崩

れ、川が氾濫し家や神社が倒れて高知県に大津波が襲来し多くの船が壊れ田んぼが壊滅状態になったと記されています。その被害は三連動地震の為大阪府、和歌山県、三重県、愛知県なども同じような被害があったと記されています。

古代最大クラスの大地震が東日本大震災とほぼ同じ規模震源地で 869 年**貞観地震**(ｼﾞｮｳｶﾞﾝ)です。記録によりますと連続して地震が起こっています。864 年に富士山大噴火で始まり 869 年の貞観地震まで日本各地で地震が繰り返され日本列島が大災害に連動して起こります。「大変動期」とされています。鎌倉時代には 1293 年**永仁地震**(ｴｲﾆﾝ)が起こり関東南部で著名な建長寺が炎上しそのほとんどが焼失。死者 2 万 3000 人強までの被害になってと記録されております。そして、1361 年**正平地震**(ｼｮｳﾍｲ)です。東海・東南海・南海の三連動地震だったとされており、大阪にある四天王寺の金堂が倒れたり、近畿内の中心のお寺や庶民の家屋の被害も相当多かったとされております。大阪・徳島・高知で津波被害が発生して大きな損害であったと思われます。この大地震が南海トラフト巨大地震です。不思議な記録として全国的に有名な湯の峰温泉・愛知の道後温泉の湯がとまりその後大地震がはっていしたとの記録が残っています。1498 年**明応地震**は、マグニチュード 8 以上では、浜名湖のかたちを変えたとされています、もともとは、完全な陸地の淡水湖であった浜名湖を山が崩れ、地割し、地盤沈下が起こり、大津波で海とつながる汽水湖に変わったとされています。尚、鎌倉の大仏様は、元もと奈良の大仏様の様に立派な大仏殿の中にありました、高徳院というお寺の阿弥陀如来様(ｱﾐﾀﾞﾆｮﾗｲ)でありましたが大津波で建物が全部流されその後再建築せず、今の様に青空の下で座っている鎌倉の大仏様となっています。

戦国時代 1586 年には、天正地震(ﾃﾝｼｮｳ)が、豊臣秀吉が明智光秀を倒した 1582 年の 4 年後に発生しています。被害は近畿を中心に三重、滋賀、愛知、岐阜、四国まで被害が及ぶ大きな地震でありました。秀吉の家臣琵琶湖の長浜にいた山内一豊の娘や加賀にいた前田利家の弟など側近の武将の家族が命を失うほどの揺れでした。この地震で恐怖を味わった天下人秀吉は地震の原因が琵琶湖にすむ、大ナマズだと言い、家臣へ『ナマズ対策をせよ』命じたほどでした。その後地震は大ナマズの原因で起こると噂まで広がりました。

次は、江戸時代から大正時代版です。

マグニチュード７以上の大地震が１６０３年から１９２６年の間に８９回あり大災害となったとの記録が残っています。その中でも被害が大きかったのが『慶長地震・元禄地震・宝永地震・関東大震災』（けいちょう地震・げんろく地震・ほうえい地震・かんとうだい震災）です。

1605 年の**慶長**(ｹｲﾁｮｳ)**地震**は、徳川家康が征夷大将軍になって 2 年後東海から南海までの大地震が発生し大災害になったとされています。

1703 年には、**元禄地震**、関東一円を巨大な地震が襲い、小田原城下は壊滅状態、８０００軒以上の民家が倒れ、死者２３００人以上、江戸も数千人の死者１５００人以上と関東大震災とほぼ同じマグニチュードで震源地も似た所で同じタイプ地震と思われます。

宝永地震 1707 年は、我が国最大規模級の大地震です。マグニチュード９で東海道から九州までの大揺れし大津波が襲う地震となり何度もお話しした南海トラフト巨大地震です。死者は２万人以上、家屋倒壊６万、流出家屋２万、高知県は２０平方キロメートルに及ぶ土地が地盤沈下しました。地震後一息つく間もなく富士山の大噴火（宝永の大噴火）が起こり、火山灰の影響で食糧危機、静岡から東京までの広範囲に火山灰が降り積もります。その後、食糧危機が長く続き大災害に苦しみます。

1923 年大正 12 年歴史に残る。**関東大震災**が起こります。被害の規模はマグニチュード９首都圏直下型地震、死者、行方不明者合わせて１０万５０００人以上、全壊家屋１１万軒以上、半壊家屋１０万軒以上、焼失家屋２０万軒以上、神奈川県の熱海には、高さ１２ｍの大津波が観測され、関東地方を壊滅状態に追い込む大災害になり、東京の７割の住宅が破壊され人々は仮設住宅での生活や東京から避難を余儀なくされました。

最後に、昭和から平成版です。

マグニチュード７以上の大地震が１９２６年から２０１６年の間に大災害となった記録があります。その中でも被害が大きかったのが『四大地震・福井地震・阪神淡路大震災・東日本大震災』です。

1945 年の戦争前後にかけて連続して、１０００名以上の死者が出る地震が起こり四大地震と言われています。

1943 年　昭和 18 年　鳥取地震
死者１０８３名、全壊家屋　７，４８５軒

1944 年　昭和 19 年　東南海地震
死者１２２３名、全壊家屋１７，５９９軒

1945 年　昭和 20 年　三河地震
死者２３０６名、全壊家屋　７，２２１軒

1946 年　昭和 21 年　南海地震
死者１３３０名、全壊家屋１１，５９１軒

4 年連続で起こり各地で災害が続きました。

1948 年　昭和 23 年　福井地震
死者３，７６９名　全壊家屋３６，１８４軒

この地震で北陸地方に展開する大和百貨店の福井店が全壊となりました。

1995 年　平成 7 年　阪神淡路大震災
死者６，４３４名　負傷者４３，７９２名
全壊家屋１０４，９０６軒

大規模範囲の火災が発生し災害規模を拡大していきました。

2011 年　平成 23 年　東日本大震災
死者１６，２７８名　負傷者６，１７９名
全壊家屋１２９，１９８軒

地震後の津波で被害が拡大し、原発事故で被害地、被害者が拡大しました。

東日本大震災のような東北沖が震源地大きな地震のあと必ず南海トラフト巨大地震が起きています。1943 年から 1946 年四大地震です、このときは、戦争中、戦後の混乱時期にあり、人々の記憶や記録が少なく、大きな印象とはなっていませんが、大きな地震はこれからです。日本地震の歴史を調べてみて分かりました地震は必ず起こる地球も地殻変動をしてるので、地震は周期的に起こるものだということが分かりました。

くれぐれも注意を怠らないようにしましょう。

準備として地震保険加入や自宅・会社の耐震補強です

あとは、ハザードマップ（地震シュミレーションマップ）で自宅・会社にどれぐらいの震度の地震が来るか震度５又は震度６、津波が来るのか来ないのか、それを示す地図（ハザードマップ）を確認ください。

そこで、私の本業である保険、地震保険について、少しお話致します